

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年2月8日(2018.2.8)

【公開番号】特開2017-169848(P2017-169848A)

【公開日】平成29年9月28日(2017.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2017-037

【出願番号】特願2016-59635(P2016-59635)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月20日(2017.12.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

遊技媒体が入賞可能な第1状態と遊技媒体が入賞困難または不可能な第2状態とに変化可能な可変入賞手段と、

所定期間が経過することまたは遊技媒体が所定数入賞することのうちの少なくとも一方が成立するまで前記可変入賞手段を前記第1状態に変化させることができ単位遊技を所定回数実行する有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、

前記可変入賞手段に遊技媒体が入賞した場合に、所定の価値を付与する価値付与手段と、

前記有利状態において付与可能な価値に対応した報知を行う報知手段と、

前記報知に対応した特定状態へ向けて、前記可変入賞手段へ遊技媒体が入賞した場合に変化する状態表示を実行可能な状態表示手段と、

前記状態表示が前記特定状態に変化したときに特別演出を実行する特別演出実行手段とを備え、

前記状態表示手段は、前記有利状態における1の単位遊技において遊技媒体が前記所定数より多い特定数入賞した場合、前記状態表示の変化を制限することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

(手段1)本発明による遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機であって、遊技媒体(例えば、遊技球)が入賞可能な第1状態(例えば、開放状態)と遊技媒体が入賞困難または不可能な第2状態(例えば、閉鎖状態)とに変化可能な可変入賞手段(例えば、大入賞口)と、所定期間(例えば、29.5秒)が経過することまたは遊技媒体が所定数(例えば、10球)入賞することのうちの少なくとも一方が成立するまで可変入賞手段を第1状態に変化させることができ単位遊技(例えば、ラウンド)を所定回数(例えば、15

R 確変大当たりであれば 15 回、8 R 確変大当たりであれば 8 回) 実行する有利状態(例えば、大当たり遊技状態)に制御可能な有利状態制御手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ 560 における、ステップ S305 ~ S307 を実行する部分)と、可変入賞手段に遊技媒体が入賞した場合に、所定の価値を付与する価値付与手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ 560 におけるステップ S32 を実行する部分と、払出制御用マイクロコンピュータにおける賞球個数を示す払出制御コマンドに応じて球払出装置 97 を駆動する部分)と、有利状態において付与可能な価値に対応した報知を行う報知手段(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 100 における、ステップ S3304A, S3507, S3939A を実行する部分)と、報知に対応した特定状態(例えば、「0」表示)へ向けて、可変入賞手段へ遊技媒体が入賞した場合に変化する状態表示を実行可能な状態表示手段(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 100 における、ステップ S2910A, S3924A, S3939A を実行する部分)と、状態表示が特定状態に変化したときに特別演出を実行する特別演出実行手段(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 100 における、ステップ S2912, S3926 を実行する部分)と、を備え、状態表示手段は、有利状態における 1 の単位遊技において遊技媒体が所定数より多い特定数入賞した場合、状態表示の変化を制限する(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 100 は、ステップ S3920 の Y であるとき、状態表示の変化を行わない)ことを特徴とする。そのような構成によれば、可変入賞手段へ遊技媒体が所定数より多い特定数入賞した場合に変化を制限するため、付与可能であるものとして報知した価値の大きさと、実際に付与されたものとして報知した価値の大きさとで矛盾が生じることを防止することができる。また、遊技者に高揚感を与えることができ、興趣を向上させることができる。